

いじめのない学校を目指して

本校のホームページに「いじめ防止基本方針」が掲載されています。その中にもありますが、「いじめは全ての子供に関する問題であり、いじめは、いつ、いかなるところでも起こりうる」ものです。わたしたち教職員は、そのような認識のもと、日頃からの児童観察、月に一回の学校生活アンケート、スクールカウンセラーとの情報共有などにより、「いじめの未然防止・早期発見・早期対応」を心がけています。大人が気付きにくい問題として、SNSによるいじめがあります。SNSでは相手の顔や表情が見えないため、気持ちが伝わりにくく、すれ違いが生まれてトラブルに発展しがちです。安易な書き込みがいじめにつながることもあります。困ったときには大人に相談するよう指導していますが、御家庭でも日頃からお子さんとコミュニケーションを取り、お子さんの様子や会話の中で気になることがありましたら、早めに学校までお知らせいただけますようお願いいたします。

(生活指導部 三山 明子)

学習発表会を終えて

今年度は新型コロナウイルス感染防止を考慮し、日頃の学習の成果を披露する「学習発表会」を11月19日、20日に行いました。隔年で行っている音楽会や学芸会とは異なり、学級ごとの発表であることや学年によって発表する教科が様々で、発表内容については各担任が工夫を凝らして準備を行ってまいりました。直後の「保護者アンケート」には、大変多くの感想をお寄せいただき感謝しております。ありがとうございました。

芝小学校で今回のような「学習発表会」を開催したのは長い歴史の中でも初めての試みで、実は教員の中には、これまでに学習発表会を経験したことのない教員もおりました。見たことや指導したことのないものを子供たちに伝え、指導していくことは容易なことではありません。どの教科の何を発表すれば子供たちの学習が深まっていくだろうか、夏休みやもっと前から考えていた教員もいました。どの学年も台本となる「話す内容」については子供たちと共に考え、子供たちの言葉を基にして作り上げました。写真やスライドも自分たちで選んだり作成したりしました。そういった時間を過ごしながらか確実に子供たちは「一つのものを作り上げる」力が身に付き、達成感を味わうことができた、発表会後の表情から感じられました。

私たち教員も普段とは違った子供たちの真剣な表情や、話すことを覚えようとする姿、「こうしたい」という思いをもって行動している様子を見て、一人一人の成長を感じることができました。私たちもチャレンジすることを忘れずに子供たちとよりよいものを作り上げられるように、日々研鑽を積んでまいりたいと思います。

(教務主任 岩田 寛子)

第4回研究授業 3年生 「事故や事件からくらしを守る」

3年生になってから始まった社会科の授業では、身の回りの社会の仕組みについて知ることが数多くあります。子供たちは毎回の授業でわくわくしながら、考えたり調べたりしています。しかし、学習が進んでいくと学習への意欲が下がってしまうことがありました。そうした子供たちの様子から、今回の授業では最後まで子供たちが調べることへの意欲を高め続けられるよう、調べる前に学習の計画を立てることに重点をおいて指導計画を練り上げました。

実際の授業では、港区の事故や事件の発生件数を提示して、自分たちが住む港区で数多くの事故や事件が起きていることを知りました。そして、子供たちも通ったことのある東京タワー近くの道路や通学路の写真から安全に過ごすための工夫や危険な箇所を発見し、誰が、どのように安全な暮らしのために働いているのかについて具体的に予想する手がかりとしました。

さらに、三田警察署見学や地域の方のインタビュー動画などを通して調べ学習を進めていきました。次にどんなことについて調べるかは、子供たち自身の思いや願いをもとに計画を立て、次時の学習へ繋げていくようにしました。単元の終わりには、「安全に過ごすために自分ができることをしていきたい。」という感想も見られ、本單元における問題を自分事として捉えるきっかけとなったようでした。今回の学習で学んだことを、これからの生活に生かしてほしいと思います。

(3年担任 田向 あかね 荒井 かりん)